

## レディパト隊が 意識向上に一役



戸沼岩崎建設(本社・函館)の女性社員でつくる「マルワクリーンレディパトロール隊」は7月31日、現場パトロールを実施した。経理課の3人が一般目線で現場を視察。社員一丸となって現場環境の向上を目指している。

2018年度から活動

を始め、4カ所目の現場訪問。「マルワ」は社旗の元になった「和」を由来に、社員全員が協力して社業をもち立てる意味を込めた。環境改善に加え、イメージアップを図り、女性や若手技術者が活躍しやすい現場づくりにつなげる。

### 一般目線で現場視察

戸沼岩崎建設 経理課の女性社員3人

視察したのは、函館開建発注の函館新外環状道路函館市湯の沢改良現場。まず事務所内で書類の整理状況に、使い勝手や省エネ、美観など、普段は現場に従事しない一般目線で隅々まで目を光

らせた。その後現場ではトイレにある手洗い用せっけんのある位置を、所長の坂尻篤彦さんにアドバイス。現場職員は「思いがけない指摘があるので、いつも以上に緊張して現場をチェックするように頑張った」と振り返る。

佐々木志津子経理課長

(函館)

# 女性職員によるパトロール 細やかな視点で現場を点検

## 戸沼岩崎建設が作業環境改善に向け

【函館発】戸沼岩崎建設（株）（函館、戸沼淳社長）は七月三十一日、同社が請け負う「函館新外環状道路函館市湯の沢改良」の現場で、女性職員によるパトロールを行った。女性ならではの視点を生かして、現場の衛生面を重点的にチェック。建設業のイメージアップに向け、働きやすい職場環境づくりを呼びかけた。

同社は本年度、建設現場



の衛生面向上を目的に、経理課の女性職員四人による

パトロールチームを結成。一般目線や女性ならではの視点を生かした「cleanパトロール」を行い、作業環境を改善することで、女性技術者や若手技術者が働きやすい職場をつくり、担い手の確保を図る。

パトロールのチェックリストは女性職員が作成。事務所内の整理状況やトイレの衛生面を重点的にチェックした

レの衛生状況、省エネ対策、ごみの分別、工事現場の美観向上に配慮しイメージアップに努力しているかなど、衛生面を重点的に点検する。

パトロールは毎月一回、三人体制で実施。四回目となるこの日は、函館開建が整備を進める函館新外環状道路の整備の一環として、延長約九十メートルのボックスカルバートを施工する「函館新外環状道路函館市湯の沢改良」の現場を点検した。一行は、はじめに事務所内の整理整頓状況などを確認したあと、現場に移動。ト

イレの衛生状況や安全表示などの美観が良いかなどを確認した。講評では、「事務所内は整理整頓され過ぎて、やすく、現場内も熱中症対策など作業しやすい環境」と評価。一方で、使用していない電化製品のコンセントを抜くなどして省エネ対策を図るよう呼びかけた。

パトロールに同行した木村正義常務は「衛生面の向上には効果きめん。将来的には安全講習も受けてもらい、安全面に関してもチェックしてもらいたい」と話している。